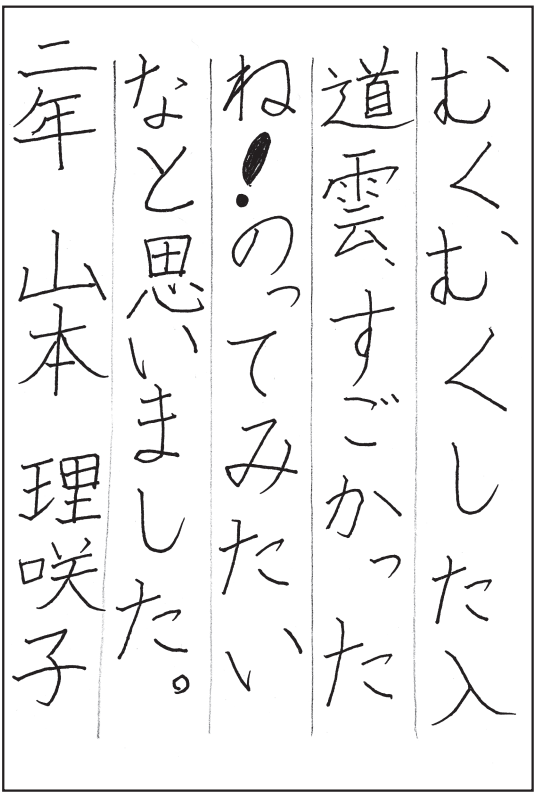
はがきでペン優秀作品

佳作以上に「書作名人筆」さしあげます

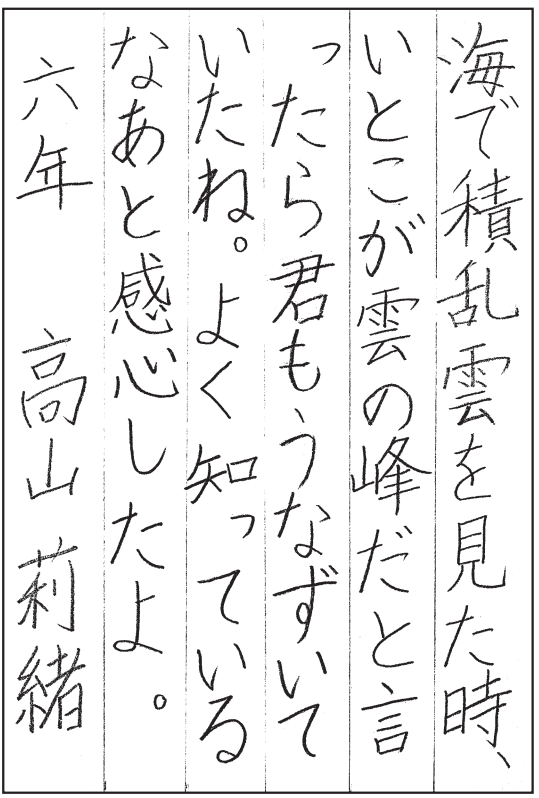
審査担当　金子榮風先生

最優秀作品２点



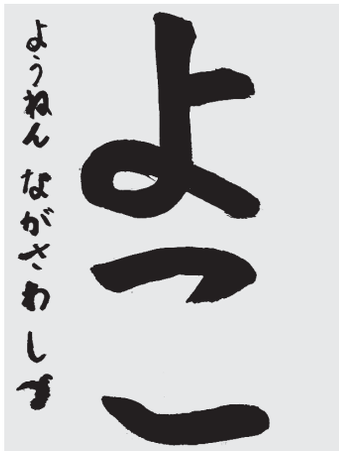
小２　山　本　理咲子

せんにいきおいがあって、どうどうとした字。



小６　高　山　莉　緒

一画ずつていねいに書き、美しい文字が並ぶ。



永澤志津　幼年　8級

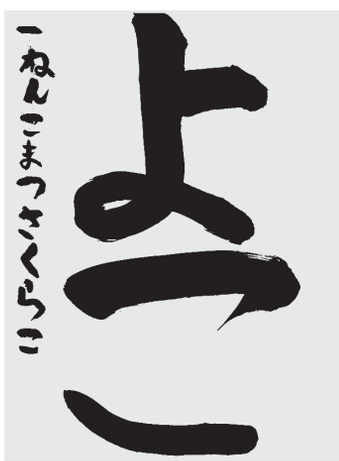
はやすぎず、おそすぎず、せんをかくスピードがちょうどいいです。「よ」のまるめるところ、「こ」のハネ、きれいです。

加藤里依紗　小4　準2

動きを大きく、線を太く書くことで画数の少ない四文字を堂々とした作品にしました。一文字ずつの場所も正しいです。

五十嵐葉七　中2　4段

横画の角度を揃え、太く真っ直ぐな縦画を書き全ての文字が美しい。整然とした中に勢い、強さが表現されて素晴らしい。



小松桜子　小1　3級

かくときのかまえ、しせいがとてもよく、大きなうごきでどうどうとりっぱな字になりました。このふといせんをだいじに。

岩渕憲　小5　1級

線の角度を一つ一つ細かく考えて書き、とても美しい。二文字とも最終画の反り方がポイントですがうまく成功しました。

大川温花　中3　4段

「造像記」の雰囲気を最も感じさせて魅力的。石に刻まれた文字の線の鋭さを見事に表現した。揺るぎない直線は宝物です。

宮崎乃掬　小2　2級

お手本をよく見てていねいに書きすすめ、むずかしい四文字をうまくまとめた。いきおいのあるたての直線がきいています。

荒川泉音　小6　6級

画数の少ない文字を太く、多い文字をやや細く書き、たがいにせめぎ合いながらバランスよくまとめた。名前素晴らしい。

大場優乃　小3　1級

左右のハライを大きく、バランスよく書けた。「水」「田」ともに真ん中のたての線がすばらしく、線の始まりが特にいい。

増田夢華　中1　準3

全ての線に意志が見えるような、強さを感じる作品です。紙面を大きくとらえ、左右のハライものびやかに書けました。

九月十五日締め切り
最優秀作品
金子高遠選評